

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	29
2. 大学等名	産業能率大学
3. テーマ	I・II複合型
4. 取組学部等名	経営学部 情報マネジメント学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	(393文字)
<p>本事業は、教育支援センターの新設および学習支援センターの機能強化により、授業における教員と学生のパフォーマンス（学生の発言数、教員と学生の対話数、事前課題に対するフィードバック時間など）を測定したスタッツデータ、授業外学習時間などの学生の学習行動データ、および知識・技能・態度の3側面から把握した学修成果の分析に基づき、教育方法や授業外課題の質量などの改善を図り、深い学びと学修成果を伴った教育の実現に取り組むものである。具体的には(1)教育方法の改善 (2)教育プログラムの改善 (3)学習支援の強化 (4)学修成果の多面的把握 (5)高大接続の強化 (6)事業成果の三方発信を行う。事業実施にあたっては、本学通信教育部門の学修成果の評価方法や提携先である湘南ベルマーレのデータ測定・分析ノウハウなど、産業能率大学のすべてのリソース（ALL産能）を投入して成果を最大化し、大学教育における先導的事例を創出する。</p>	